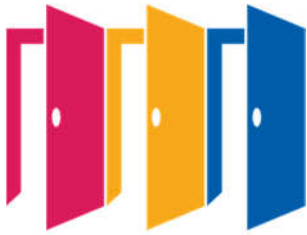


季刊



ロータリーは機会の扉を開く

RI会長 ホルガー・クナーク



事務所 飯田市鈴加町2-21 齊藤ビル2F

TEL 52-5757 FAX 49-8760

例会日 毎週火曜日 12:30~13:30

第二火曜日のみ 18:30~19:30

例会場 シルクホテル TEL 23-8383

会長 水野 隆志

幹事 小林 義尚

URL <http://www.iidaeast-rc.com/>

<https://www.facebook.com/iidaeast.rc/>

令和3年2月発行

飯田東ロータリークラブ会報

35期-2季 No.130

年末家族会(12月8日 シルクホテル)



2月8日にシルクホテルにて年末家族会が開催されました。来賓に飯田市副市長木下悦夫様、一般社団法人「子どもの森ネットワーク」より代表理事多田玲奈様、熊谷康平様をお迎えして賑やかな雰囲気で行われました。ただ残念な事が例年来ていただけの下伊那農業高校の先生及び名古屋城北RCの代表の会員の方々がコロナの関係で辞退されました。

会は水野会長の挨拶、飯田市に歳末助け合い寄付寄付の贈呈の行事を行い、次年度の会長・幹事の発表、その後クラブを盛り上げていってもらう貴重な新入会員として中澤みどり会員、手塚弘晃会員、木下裕亮会員、佐々木哲志会員、井上梢会員以上5名の紹介が行われ、新入会員としての期待できる一言を聞くことができました。いよいよ乾杯の時間となり久保田直前会長の発声で祝宴が開始されました。今年のアトラクションは、コロナの関係で各種団体が室内での催しに関してはお断りしているとの事で身近のフワームーンのお二人を呼び古き良き音楽に親しんでもらいました。ただ一曲だけ予想外のロックがありました。それなりに盛り上がったと思います。最後に一大イベントとして恒例の下伊那農業高校のシクラメン鉢を皆様に購入していただき少しの収益をあげることができました。新作のシクラメンは人気がありジャンケンで決めるという場面もありました。コロナで開催が危ぶまれた年末家族会でしたが最後は「手に手つないで」を輪になり歌いながら飯田東ロータリークラブの団結力を見ながら盛大のうちに幕を閉じることができました。

親睦活動委員長 近藤克彦

職場訪問(11月17日) 南信州菓子工房様



11月17日の職業奉仕委員会の事業として、当クラブに新入会員として入会されました木下裕亮会員が社長されています南信州菓子工房に訪問させていただきました。和菓子製造が専門だった先代の社長から引継ぎ、今から8年前の2012年より地元で生産されている材料を活用し、他社にはないドライフルーツの菓子製造に切り替えて大成功した経過のお話と、工場見学をさせていただきました。

同じお菓子の部類であっても和菓子製造から、ドライフルーツ菓子製造へと切り替えを試みた木下社長の発想と決意は、正に菓子業界から見れば破壊的発想（破壊的イノベーション）だったと思います。同じ菓子類でも和菓子でもない、洋菓子でもない、世の中で見たこともないものを製造して、果たして売れるだろうかと誰もが半信半疑になります。木下社長は破壊的イノベーションの原則を知り尽くした上で、和菓子製造からドライフルーツ菓子製造に挑戦した結果、勝ち得た素晴らしい成果だと感じました。

工場内は省力化できるものは自動化し、止むを得ず人力で処理しなければならない部分においては再検査を行い、商品の均一化を図ると共に、工場内の衛生設備も完備され素晴らしい工場だと思いました。

今回の職場訪問は木下社長さんのご協力により、参考資料の準備や会社の説明をしていただきました。帰りには当クラブ会員参加者全員にお土産までいただきました。本当にありがとうございました。

職業奉仕委員長 菜花義一
中田忠夫



地区大会報告(9月8日)

2020-2021年度地区大会が、地区標語と同じ「ロータリーを通して、あなたの世界を広げよう」をテーマに掲げ10月4日（日）上田市行サントミュージアムに於いて上田西ロータリーをホストクラブに行われました。

今回はコロナウィルスの影響を考え、RI会長代理歓迎晩餐会・エキスカッション・青少年アワー・研究会などを取りやめ、諮問委員会・クラブ会長・委員長会を午前中に行い、本会議・講演会を午後行う1日のみの開催となりました。会場は、会場参加者を400人限定と制限されたため、水野会長、津野副幹事、中澤広報委員長、私小林の4名が参加いたしました。全体で53クラブ中6クラブが不参加、下伊那グループからは当クラブのみで大変残念でした。大会は、参加者の紹介・来賓挨拶・寄付などの規定の行事は例年の様に行われました。RI会長代理の出席がないため、ホルガー・クナークRI会長のビデオメッセージが字幕の入りでスクリーンに映し出されたのは、親しみも湧き判り易良かったと感じました。

また、山極壽一先生の「新型コロナウイルス後の人間社会」の講演は時節に合っている内容で、人口減



少の中成熟していく今後の社会において「家族や地域の価値を維持・向上させるため、適切なコミュニケーション取り方がより一層大切になる」との興味深い示唆を与えてくれるお話を聞くことが出来ました。コロナ禍の中、IAC・RAC・米山奨学生の参加もなく例年の賑やかさはありませんでしたが、全体を通して成果を収めた大会だったと感じました。準備・運営に大変御苦労された役員の皆様に御礼を申し上げます。

小林義尚幹事

新入会員卓話（10月27日 12月22日 シルクホテル）



自己小伝 出会いに感謝

「離れた場所にいる人と人をつなぐことができる」という通信の世界に魅力を感じ社会人生活をスタート。多くの転勤・引っ越しを繰り返したからこそ、様々な土地・部署を経験でき、魅力的な方々と出会うことができたことに感謝しています。

一番成長できたと感じているのは本社での経験。ワークライフバランスが重視される今からは考えられない働き方で、満員電車通勤に残業の日々。そんな中でも、その時を楽しみながら、頑張っている自分をすごい！と褒めながら働いている仲間との出会いに恵まれ、物事の捉え方ひとつで良い時間を過ごせるんだと実感しました。その頃一緒に時間を過ごした仲間とは、今でも連絡を取り合い「あんなことあったよね」と語り合える今です。このロータリでの出会いも大切にしていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。（中澤みどり会員）

“将来の夢はコックさん” 夢を実現！

子供の頃、将来の夢を訊かれた時に、「コックさんになりたい」と書きました。そして「じゃなか！」とコックを目指しました。

東京品川のホテル（高輪プリンスホテル）に就職し、フランスから三ツ星レストランのシェフが来店したときに、料理を経験。その後地元のホテル（シルクホテル）に就職。多くのことを学び、飯田C C、飯田ビール工場を経験後、28歳で“ビストロオーベルジュ”をOPEN。そして、その6年後に現在の“メランジェ”をOPEN。

コンセプトは「美味しいものは国境がない」。店名である「メランジェ」はフランス語で「まぜる」今年16周年を迎えました。趣味が高じてワイン、ビール、焼酎、日本酒、野菜、チーズなどの資格を取りました。勉強のために夜な夜な出歩いておりますので、ぜひお誘いください。（手塚弘晃会員）



半生ドライフルーツへの挑戦

南信州菓子工房は、2012年5月に創業して8年たったところです。元々は座光寺にある「お菓子のシアワセドー」の長男です。小さい頃よりその製造過程を見て来て、私もお菓子の世界に入らなければと思ってきましたが、何か新しいことに挑戦したいとまた考えておりました。お菓子の世界でこれから需要が高まるのではないかと、素材を生かして製造する「半生ドライフルーツ」への挑戦を決め独立、創業いたしました。創業する時、周りからかなりの反対がありましたが、私の信念は変わることなく、ドライフルーツを造ることとなりました。

本社は阿智です。その他に阿南工場、鹿児島工場が稼働中です。そして大分の自社農園では10ヘクタールの土地にレモンの栽培を始めました。ゆくゆくは、日本一の畑を造るのを目標としています。（木下裕亮会員）

漢方への興味から薬局を創業！

飯田下伊那郡内に4店舗調剤薬局を営業。もともと薬局を家でやっていたわけではなく、私の代から創業。学生時代から漢方薬に興味を持ち、クラブも生薬部漢方班に所属して漢方の基礎を学びました。卒後は当時(株)津村順天堂、今はC Iをして(株)ツムラに入社致しました。(株)ツムラで10年勤務し、平成9年にささき薬局を立ち上げて今に至ります。調剤は当然ですが、漢方相談も得意としております。皆さんのイメージではきっと漢方相談といいますが症状を聞いて煎じ薬が出てくるというものではないかと思いますがそれだと手間がかかりますので私はエキス剤を提供いたします。7日から10日ほど試しに飲んでいただき、その後調子が良ければかかりつけのDrに処方名を紹介して、保険がきいた形で処方箋を出してもらうように、Drと連携をとったりしています。何かありましたら承りますのでよろしくお願いいたします。（佐々木哲志会員）



年次総会 次年度役員・理事発表(12月1日 シルクホテル)



水野会長よりクラブ細則に基づき、次年度の役員及び理事が発表されました。

田中淳次期会長、津野和広次期幹事を始め、SAA 下田一則会員、副会長 近藤克彦会員、会計 片桐信親会員、副幹事 木下裕亮会員、親睦活動委員長 後藤高一会員、プログラム委員会 宮嶋徹会員 8名の皆様が就任されることとなりました。

ニューノーマル時代での活動となり、色々と模索しながらの活動となりかもしれませんが、新役員の皆様を

中心に、全員で盛り立てて次年度も引き続き本ロータリーの活動を進めていきたいと思いました。

(中澤みどり会員)

外部卓話(11月24日 シルクホテル)

「つなごう！こどもの笑顔」～私たちにできること～

社会福祉法人長姫福祉会 児童養護施設 おさひめチャイルドキャンプ 主任児童指導員 安藤民平様より「つなごう！こどもの笑顔」～私たちにできること～と題して、卓話いただきました。

安藤様は、東京生まれで青森育ち。信州大学教育学部に入学され、卒後後世界一周一人旅に出たそうです。その旅でエクアドルを訪れた時、ストリートチルドレンと出会い、それが子ども虐待防止の取り組みへ入っていくきっかけになったそうです。

安藤様が所属されている児童養護施設とは、保護者がいなかったり、保護者の適切な養育を受けられなかったりする子供たちを公的責任で保護・養育し、家庭を支援する「社会的養護」の仕組みの中に位置づけられている施設だそうです。児童養護施設は全国に約600ほど。飯田下伊那には3施設あ

るそうです。もともとはおさひめ保養園という名前だったそうですが、「力を蓄えて自立していく」という意味を込めておさひめチャイルドキャンプという名称に改名されたとのこと。守るというだけでなく「自立」という子供の未来を考えた強い思いが込められていて素敵だと感じました。

児童養護施設の役割は、地域の子育てニーズに応え、様々な課題を抱えた子供をケアできる専門施設とのことです。その存在を知ってもらい、私たち一人一人が関心をもつということがとても大事になってくると考えさせられました。そして、児童虐待防止のシンボルはオレンジリボン。その啓発活動として「オレンジリ



ボンたすきリレー」や関連イベントが全国各地で行われているそうです。児童虐待かも？と思ったら「189」へつないでほしいとのこと。

まずは、私たち一人一人が「地域で子供を育てていく」という意識を持ち、児童虐待防止への関心をもっていかなければいけないと感じました。

(中澤みどり会員)



本誌に掲載の活動は、各文面に記載のWeeklyの他、当クラブホームページ、Facebookでもご覧いただけます。

飯田東ロータリークラブ

検索

➤ ホームページ



<http://www.iidaeast-rc.com/>

「今までの活動記録」

➤ Facebook



[https://www.facebook.com/](https://www.facebook.com/iidaeast.rc/)

iidaeast.rc/